

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	吉見町					
提案事業名	吉見百穴魅力再発見事業					
事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 新規来場者及びリピーターの増加(魅力再発見)					
	(成果検証の具体的な方法) 入場者を集計し、現状の数値と比較して増減数及びその要因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B ㉔
	従前値 (1年10月時点)	59,063人	目標値 (4年3月時点)	65,000人	実績値 (4年3月時点)	62,275人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		令和3年度決算(行政報告)において公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 観光トイレ整備事業	○	緊急事態措置(R3.8.2~9.30)、まん延防止等重点措置(R4.1.21~3.21)を含む令和3年度において衛生的なトイレ整備の効果があつた。
② 多言語看板、パンフレット整備事業	△	国内在住の外国人観光客を中心に多言語パンフレットの需要は一定数あつたものの、R2、3年度は海外からの旅行客が全国的に皆無であつたことから事業効果は限定的な水準に留まる。コロナ後に期待。
③ 駐車場整備事業	○	コロナ禍における「マイカー観光」の受け皿として、大きな事業効果を得ることができた。
④ 百穴絵画コンクール事業	○	町内小学生(5、6年生)から166作品の応募があり、コンクールは703票の投票があつた。郷土愛の醸成と合わせ、小学生の視点で描かれた百穴の魅力を、多くの方が知ることにつながつた。
⑤ 社会科見学コース案内事業	○	「遠出しな社会科見学」のニーズを掘り起こし、コロナ禍において県内小学校の社会科見学の受け皿として、吉見百穴を選んでもいただくことにつながつた。
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	コロナ禍において、「近場の観光」「マイカー観光」の促進に、大きな成果が認められ、コロナ前(R1.10月)の基準値を上回る実績が得られた。
実施事業について 成果が不十分である点	緊急事態措置、まん延防止等重点措置等による外出自粛など、コロナ禍の影響が大きく、目標値の達成に至らなかつた。外国人観光客については、極めて限定的な成果に留まつた。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	コロナ禍において、コロナ前の基準値を上回る実績を得たことから、実施事業は、一定以上の効果を生み出していると考えられる。目標未達はコロナ禍の影響が大であるため、ポストコロナに向けて現在の取組を継続する。